

## 第5章 類似の公園整備の事例整理



## 5 - 1 住民ワークショップ方式による公園整備の事例

公園名	上矢部あおぞら公園	神奈川県
敷地概要	横浜市戸塚区上矢部町	約 1.2ha
ワークショップの概要	・ 3回開催（平成 18 年 6 月～10 月）	
	参加者	・ 公募 / 24 名、上矢部小学校の児童
内容	（第 1 回）現地見学、まとめの作成（6 月） （第 2 回）公園づくりの前提条件提示、プランづくり、発表（9 月） （第 3 回）事務局案の提示、意見交換、プラン修正（10 月）	
施設概要		
完成	平成 19 年 4 月開園	
施設内容	広場、トイレ、アスレチック遊具等	
特徴	・ ワークショップの他に公園の名称を投票で決めたり、住民の手で植栽を植え付けたり、小学校の児童の絵が描かれたモニュメント（時計台）を設置したりと、計画段階から工事の段階まで住民参加でつくられた。	
	<p>ワークショップで決まった計画案と主な意見</p>	
参考	横浜市HP	

公園名	新川丸池公園	東京都
敷地概要	東京都三鷹市	約 1.0ha
ワークショップの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7回開催（平成 9 年 2 月～11 月）</li> <li>・ 実施設計ワークショップ 4 回（平成 10 年 7 月～平成 11 年 4 月）</li> </ul>	
参加者	・ 延べ約 1000 人	
内容	<p>丸池復活プランづくりワークショップ</p> <p>（第 1 回）現地見学、水質調査（2 月）</p> <p>（第 2 回）水辺についての勉強会、現地で池の大きさ確認（3 月）</p> <p>（第 3 回）グループごとに公園の計画案検討（5 月）</p> <p>（第 4 回）グループごとに基本プランの検討 1（7 月）</p> <p>（第 5 回）グループごとに基本プランの検討 2（8 月）</p> <p>（第 6 回）現地でデザインプランを原寸で確認（9 月）</p> <p>（第 7 回）プランを市長に提出（11 月）</p> <p>丸池実施設計ワークショップ</p> <p>（第 1 回）テーマ（トイレ・植栽・橋・池）に分かれデザインを検討（7 月）</p> <p>（第 2 回）設計者より設計プランたたき台を提示し意見交換（9 月）</p> <p>（第 3 回）最終修正されたプランの提示、説明（10 月）</p> <p>（第 4 回）パース絵の発表（平成 11 年 4 月）</p>	
施設概要		
完成	平成 12 年春	
施設内容	広場、ビオトープ、トイレ等	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の樹林や水辺空間などの自然環境を極力維持しつつ、かつて豊かな湧水を湛えていた丸池を復活させるプランが住民ワークショップにより作成され、プランに基づき公園が整備された。</li> <li>・ ワークショップでは、具体的な計画の検討と合わせてゴミ拾いや川の水質調査を行うなど、イベントの要素を取り入れている。</li> <li>・ 平成 8 年当時、「ワークショップ」が認知されていなかったため、「まちづくりワークショップ実践講座」から始め、丸池復活運営委員会を発足させた。</li> <li>・ ワークショップに参加したメンバーは「丸池わくわく村」を結成し、公園に隣接する土地を市が買収した際にも再度ワークショップによるプランづくりを行ったり、近隣小学校の環境学習・総合学習の案内役になったり、定例の清掃などを自主的に行うなどの活動を続けている。</li> </ul>	
参考	株式会社まちづくり三鷹HP	

公園名	柏の宮公園	東京都
敷地概要	東京都杉並区	約 4.3ha
ワークショップの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 回開催（平成 12 年 7 月～平成 13 年 2 月）</li> <li>・ 公開専門委員会 2 回</li> </ul>	
	参加者	・ 公募 / 約 80 名 / 延べ 380 人以上
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>（第 1 回）事業内容と計画地の説明、質疑応答（7 月）</li> <li>（第 2 回）現地調査、グループ発表（7 月）</li> <li>（第 3 回）グループ別に活用・空間イメージの検討（9 月）</li> <li>（第 4 回）土地利用、安全確保、既存施設について検討（11 月）</li> <li>（専門委員会）計画案の発表、専門家との質疑応答（12 月）</li> <li>（専門委員会）計画修正案の発表、専門家との質疑応答（1 月）</li> <li>（第 5 回）計画修正案の発表、管理運営についての検討（2 月）</li> </ul>	
施設概要	< 広域避難場所の一部 >	
完成	平成 16 年 10 月	
設備内容	草地広場、茶室、日本庭園、水生生物の池、管理事務所等	
防災設備	防火樹林、かまどベンチ、手押しポンプ、災害備蓄庫、災害用便所等	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園周辺が「三井上高井戸グランドー帯広域避難場所」に含まれているため、防災機能に重点をおいて整備された。</li> <li>・ 5 回のワークショップのほか、公開の専門委員会を 2 開催し、専門家との意見交換を行いながら公園憲章、公園の基本計画の策定などを行った。</li> <li>・ 「すぎなみ公園育て組（柏の宮公園管理運営の会）」が発足し、開園後も区と区民が協力して公園の維持管理や冒険遊びなどの活動を行っている。</li> </ul>	
参考	区資料	

## 5 - 2 防災公園の事例

公園名	大洲防災公園	千葉県
敷地概要	千葉県市川市	約 2.8ha
施設概要	< 一時避難場所 >	
完成	平成 16 年 4 月開園	
防災設備	防災樹林帯 非常用便漕 テントが張れるパーゴラ 公園事務所兼備蓄倉庫 カマドになるベンチ 自家発電機 耐水性飲料用貯水槽 物資積み下ろし場	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内には診療・福祉施設や消防署出張所が配置されており、災害発生時などに、地域住民の一時避難所となる当公園と機能を一体化させ、救護所などに使用することが想定されている。</li> <li>平常時の公園、災害発生直後の一時避難場所、発災後の救援のための利用、とそれぞれの利用形態が想定されて計画されている。</li> <li>平成 11 年 11 月に創設された「防災公園街区整備事業」によって整備された公園。</li> </ul>	
	<p>The site plan illustrates the layout of Oshima Disaster Park. It features several key areas: a residential area (住宅地) to the northwest, a multi-purpose field (多目的広場) with a pergola (パーゴラ) and health exercise equipment (健康運動器具), a picnic area (ピクニック広場) with a picnic table (野外卓) and a large tent (大型テント), a central field (中央広場), and a service yard (サービスヤード) containing a management office (公園事務所), a storage warehouse (備蓄倉庫), an emergency clinic (急病診療所), and a fire station extension (消防署 大洲出張所). Other facilities include a fire forest belt (防火樹林帯), benches (ベンチ), a fire net (防球ネット), and a water storage tank (地下雨水貯水槽). The plan also shows parking areas (駐車場), bus stops (バス停), and various entrances and exits (広場出入口, 駐車場入口, 駐車場出口).</p>	
参考	市川市HP	

公園名	矢崎町防災公園	東京都
敷地概要	東京都府中市矢崎町	約 1 ha
施設概要	<地域防災計画での位置づけなし>	
完成	平成 18 年 4 月完成	
防災設備	防災倉庫 耐震性貯水槽（飲料水：100t×2基） 手押しポンプ 耐水性防火貯水槽（生活用水：100t×3基） かまどベンチ かまどスツール 災害用仮設トイレ 太陽光発電・風力発電による証明施設 多目的広場	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難場所であり、防災訓練などが行われている。</li> <li>・隣接する下河原緑道、第二都市遊歩道は災害時に緊急車両が通行でき、歩行者が公園やほかの避難所への経路として利用できるように整備されている。</li> </ul>	
参考	市広報	

公園名	上砂公園	東京都
敷地概要	東京都立川市上砂町	1.1ha
施設概要	<地域防災計画での位置づけなし>	
完成	平成 15 年 3 月開園	
防災設備	簡易水道用井戸、修景池、貯水槽（40t）だれでもトイレ	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸水を活用して池、流れを整備</li> <li>・バリアフリー化を主旨として整備</li> <li>・地元自治体を中心とした住民による「清掃美化協力委員会」により、清掃や日常的な管理、遊具の点検等が行われている。</li> </ul>	
参考	続防災公園技術ハンドブック	

## 5 - 3 他自治体の取り組みヒアリング結果

### (1) 見学会の概要

杉並区役所で担当者からワークショップによる柏の宮公園の計画づくりについて説明を受けた後、柏の宮公園を見学した。

【日 時】 平成 19 年 12 月 6 日（水） 午前 10 時～午後 13 時

【場 所】 杉並区役所、柏の宮公園

【出席者】 <杉並区> 2 名、<小金井市> 2 名、<コンサル> 2 名

### (2) 主な説明の内容

#### 柏の宮公園づくりの概要

- ・当時の区長が、住民参加に熱心だったことから、ワークショップ形式で公園づくりをすることになった。
- ・三鷹市の丸池公園の事例や、世田谷区のまちづくりセンターが発行していたパンフレットなどを参考にした。
- ・住民によるワークショップ「集う会」を 5 回行ったほか、専門家から助言をもらう専門委員会を 2 回開催した。専門委員会では区長も参加し、住民から区長に提案する形の会とした。
- ・第一回目の「集う会」で、公園づくりに取り組む際の基本的な姿勢や、前提条件を提示した。
- ・毎回ワークショップ後に成果のニュースを発行するので、ワークショップは 1 ヶ月から 2 ヶ月以上、間隔をあけて行った。
- ・参加者は一般応募で区内全域から募集した。

#### ワークショップの進め方についての課題

##### 【全体を通したプログラムの検討】

- ・ワークショップによる公園づくりを始める前に、全体を通した進め方や、最終的な決定を誰がするかと言った基本計画の決定に至るまでのプロセスを議論する時間を充分に取るべきだった。
- ・第一回目のワークショップを開催した時点では公園予定地をまだ購入できていなかったため、公園内に入ることができなかった。第一回目で「どんなことができる公園にしたいか」という意見を出してもらったことをしたが、参加者に現地を見てもらっていただけなかったので、公園に対する共通のイメージを持ってもらうことが難しかった。

##### 【ワークショップ方式についての住民への周知】

- ・第一回目の説明会では、住民からなぜワークショップ形式で公園をつくるのかと言った進め方そのものに対する質問が多く出て、その説明に多くの時間を要した。

- ・募集の段階でワークショップという住民参加の検討方法について周知が必要だ。公園を自分たちで計画する、という意識ではなく、行政が出した案に意見を言えばいいと考えている人が公園の実施設計の段階で意見を言うことがあるが、住民が検討した計画のうえにできた案なので、大きな変更は難しい。意見や要望がある人には、検討の段階で意見を言ってもらえるようにしなければならない。

#### 【整備後の管理運営へ継続される住民参加】

- ・ワークショップによる公園づくりをしながら、参加者の中には有志で先進事例を見学に行ったり、実際に住民で維持管理をやっている事例を見学しに行ったりした人もいた。
- ・柏の宮公園の場合、参加者は一般応募だったが、地元の町会などと連携をとっていくことが大切だ。ワークショップを通して、住民側のリーダー的存在が決まってくれば、ワークショップの運営を任せていくことができ、また公園ができた後の住民主体による維持管理にもつながっていく。
- ・現在の公園の管理運営については、区と区民ボランティアの協力による「すぎなみ公園育て組(柏の宮公園管理運営の会)」があり、その中で冒険遊びをする会や、自然を観察する会、植木を剪定するグループなどがそれぞれ活動しているが、十分に機能しているとは言えない。
- ・ワークショップ時もそうだが、整備後も自分自身のやりたいことを実現させるために意見を言う、または行動するスタンスが多く、公園全体としてのマネージメントをトータルで考えてくれるような人、団体がいないのが現状だ。様々な団体を横断的にまとめられる住民のリーダーがいると良いと思うのだが。

#### 【住民との関係】

- ・住民との信頼関係をつくるのが大切なので、経費なども含めて、情報は出来る限り公表していくべきだと感じた。また、情報は住民にわかりやすく示す工夫が大切だ。
- ・主に、自然を残したいという意見と、運動施設を作りたいという意見で分かれた。どうしても全員の意見が通るわけでないので、意見が通らないと、次回から参加しなくなる人もいる。
- ・ワークショップが長引くと、参加者の出入りが激しく、募集段階で80人だった参加者が、一時期40人くらいになった。継続して住民に参加してもらえるような工夫も必要だ。

### (3) 現地の様子



車椅子も通れる入口



公園憲章や禁止事項が書かれた看板



草地の様子



園内にある唯一の遊具



手押しポンプ



かまどベンチ



図書コーナーや談話コーナー、管理事務所がある管理棟



日本庭園内の茶室

# かしのみや 杉並区立柏の宮公園の概要

所在地	杉並区浜田山二丁目5番1号
面積	43,458.30㎡
開園日	平成16年10月30日

## 1 公園づくりの概要

- 平成11年12月 旧日本興業銀行 柏の宮グラウンドを取得し公園として整備することを決定。
- 平成12年7月 公園の計画づくりを考える「集う会」発足
- 平成13年3月 公園基本計画策定 用地取得
- 平成14年3月 公園基本設計・実施設計策定
- 平成14年10月 第一期工事開始
- 平成15年6月 第二期工事開始

## 2 柏の宮公園ができるまで

～ 柏の宮公園は区民が自らの責任で考え、行動し、創りあげる公園です ～

柏の宮公園の公園づくりは、公園計画づくりを考える「集う会」を5回、公開の専門委員会を2回開催し、延べ380人を超える区民が話し合いを重ね、公園憲章や基本計画の策定などの公園づくりを行いました。また、区民自らが公園の管理に関わるために「柏の宮公園管理運営の会」が誕生し、開園後も区民と区の協働によりこの公園を育てていきます。

## 3 柏の宮公園憲章

～ みんなの夢を自然の営みの中で育む公園づくり ～

- ① 杉並の文化を受け継ぎ、次世代へ継承する
- ② 子供からお年寄りまで、みんながレクリエーションを楽しめる場をつくる
- ③ 魅力ある自然を守り、つくる
- ④ 地域の安全と災害に備えた避難場所を確保する
- ⑤ みんなで使いながら考え、区民の手で公園を育てる

## 4 園名の由来

「柏の宮」の名は室町時代、太田道灌がこの地に、鎌倉鶴岡八幡宮の別殿（現在の下高井戸八幡神社）を柏木左右衛門に建立させたことまでさかのぼります。江戸時代、下高井戸八幡神社は「柏木之宮」とも呼ばれ、神社のあるこの地域は「柏の宮」と呼ばれていました。

杉並区では地域の旧名称をできるだけ継承していくために、小字名であった「柏の宮」の名称を公園名として残すことにしました。（参考文献「杉並風土記 下巻」杉並郷土史会発行）

## 5 公園の主な施設

～ 公園の施設の中で、銀行の福利厚生施設として利用されていた  
クラブハウスと茶室は耐震補強などの改修工事を行い有効に活用しています ～

### 草地広場

自由に走り回り、寝転がったり、のびのびと憩える空間になっています。テニスコート側に桜並木を望み、春には草地に寝転びながらお花見ができます。また広場を囲むように車椅子の振動が少ない舗装で400mの園路があり、ウォーキングやジョギングなども楽しめます。雨水が一度に流れ出すことを防ぐため、緩やかなすり鉢状になっています。

### 疎林広場

旧日本興業銀行時代から残るイヌシデを中心とした林で、かつての武蔵野の面影を残した場所になっています。林の中で多様な遊びが行えるようになっていて、また幼児向けの遊具も設置してあります。木々をくぐり南側へ坂を下りると茶室や日本庭園が姿を現します。

### 茶室（林丘亭）

この茶室は寛永年間、若狭小浜藩主酒井忠勝が新宿区矢来町にあった酒井家の江戸下屋敷内の池畔に、小堀遠州に命じ造営したものと伝えられています。八畳室は江戸中期の書院造りで、その後の江戸末期に水屋、点前席などを増築したとのことです。のちに酒井家の江戸屋敷の一部が旧日本興業銀行矢来寮になり昭和34年、当時の頭取が武蔵野の面影を残すこの地に茶室を移築復元し「林丘亭」と名づけたとされています。

### 水生生物の池と水田・溜池

旧日本興業銀行時代のプールをそのまま利用し、かつて杉並区内に生息していた生き物が戻ってこられるような池を中心とした空間をつくりました。また溜池・水田部分に杉並の原風景であった田んぼを再現します。

### 未来の森21

21世紀の新たなスタートの年に、21世紀プロジェクト記念事業の一環として、2000年に出生した今後の時代を担う赤ちゃんとその家族を中心にしてクヌギ、コナラ、エゴノキなどの雑木を主体に植林しました。緩衝樹林帯の役割も担っています。今後は木の間引きなど行い後世に残せる武蔵野の森を創造していきます。

### 管理事務所

事務所では公園の日常管理や運動施設の利用手続きを行っています。建物内には談話・軽食コーナー、展示コーナー、図書コーナー、学習室等があり、また、だれでもトイレ、さざんかネットの端末が設置されています。地下にはテニスコート利用者用の更衣室・シャワー室があります。災害時には防災活動の中心としての機能を果たします。

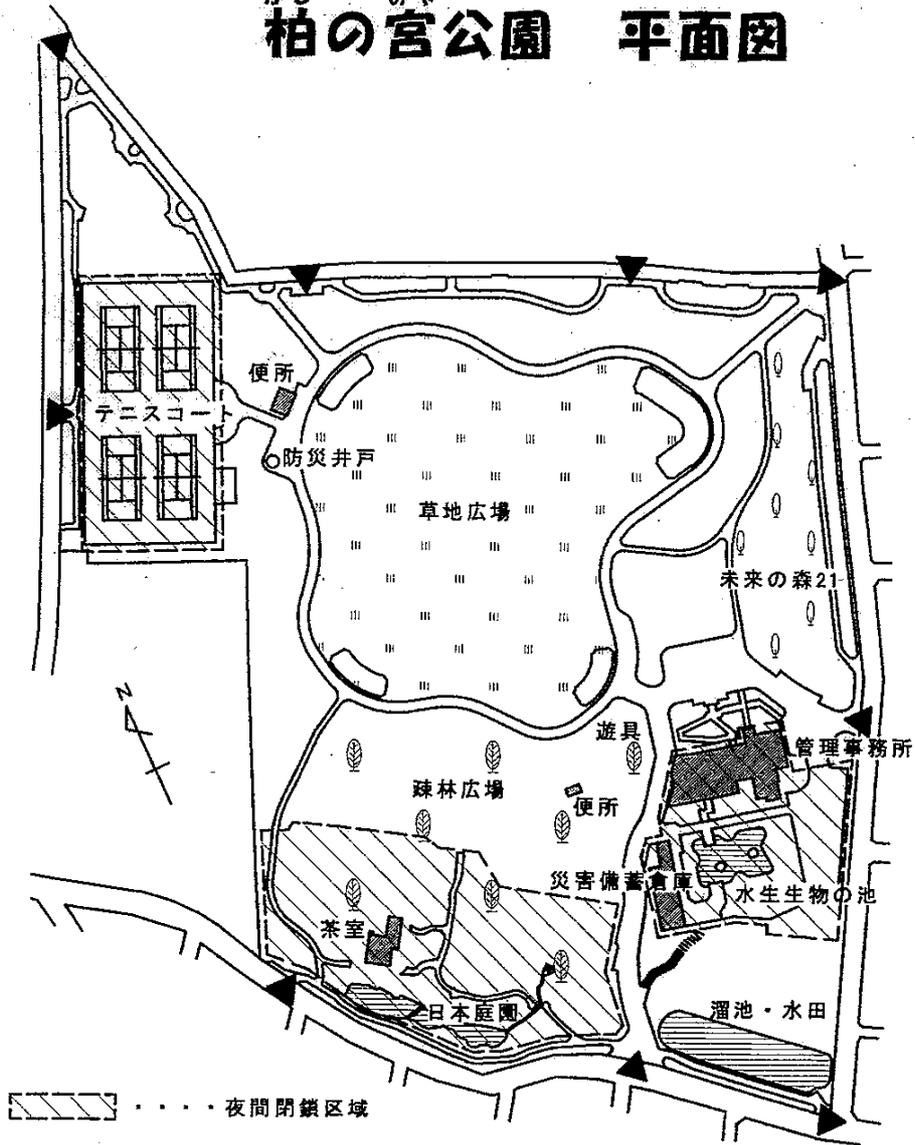
## 6 災害に備えた公園

柏の宮公園周辺は「三井上高井戸グランドー帯広域避難場所」に含まれているため、防災機能に重点をおいています。公園の周辺には防災樹木を植え、非常用水源の確保、災害用便所を設置しています。また、生活必需品など救援物資や資器材を備えた防災備蓄倉庫を整備しています。

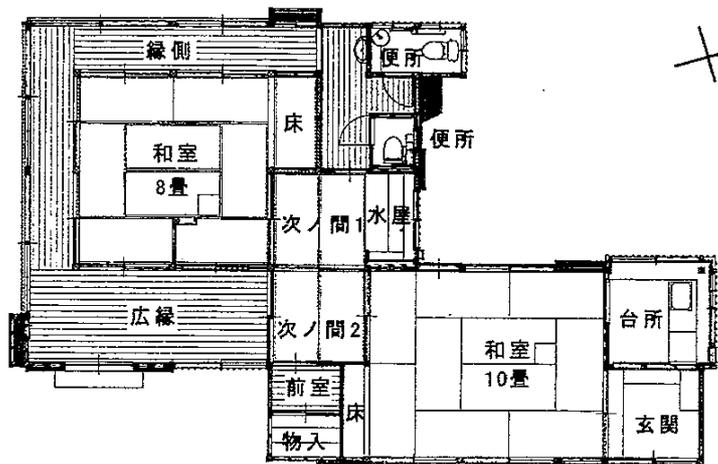
## 7 施設概要

園路	400m周回園路(透水スラグ舗装)
広場	草地広場(芝・クローバー 他) 疎林広場(イヌシデ林地)、管理事務所前広場(透水コンクリート舗装)
修景施設	水生生物の池(デッキ 2カ所)、溜池・水田(堰、木橋)、茶室 日本庭園(灯籠、石橋、玉石水路、井筒、飛石、景石)
休養施設	背付ベンチ(7基)、背無ベンチ(3基)、丸太ベンチ(3基)、木製ベンチ(1基)、災害用ベンチ(4基)、ベンチ一体野外卓(5基)
遊戯施設	幼児用遊具
便益施設	便所(2基)、水飲み(2基)、洗い場、手洗い場、自転車置場(3カ所)
運動施設	テニスコート(4面)
管理施設	管理事務所(談話・軽食コーナー、展示コーナー、図書コーナー、学習室、トイレ、だれでもトイレ、更衣室、シャワー室) 案内板(2基)、制札板(4基)、点字制札板(1基)、掲示板(4基)、園名石(2基)、注意板(12基)、ごみ箱(4基)、落葉溜め(2基) 照明灯(水銀灯 250W 22基、ナトリウム灯 110W 27基、太陽電池蛍光灯 20W 4基、フットライト 18W 12基)
植栽	高木：主な樹種 イヌシデ、サクラ、ケヤキ、アカマツ 約 1220本(既存樹：830本、移植樹 80本、新植樹：310本) 中木：主な樹種 ツバキ、ヒサカキ、リョウブ 約 200本(既存樹：170本、移植樹 20本、新植樹：10本) 低木：主な樹種 ツツジ類、アセビ、イヌツゲ 約 1980本(既存樹：190本、移植樹 220本、新植樹：1570本) 地被類：リュウノヒゲ、ヤブラン、ノシラン、コクマザサ 水辺草本：コウガイセキショウ、セリ、アゼルナコ、サクラタデ 水草：アサザ、オモダカ、トチガミ、ヒルムシロ
防災施設	防災炎水槽(100t水槽)、震災対策用貯水槽(5t水槽)、防災備蓄倉庫 災害用便所(21基)、管理事務所前広場非常用照明、発電機、井戸

かし みや  
**柏の宮公園 平面図**



りん きゅう てい  
**茶室 (林丘亭)**



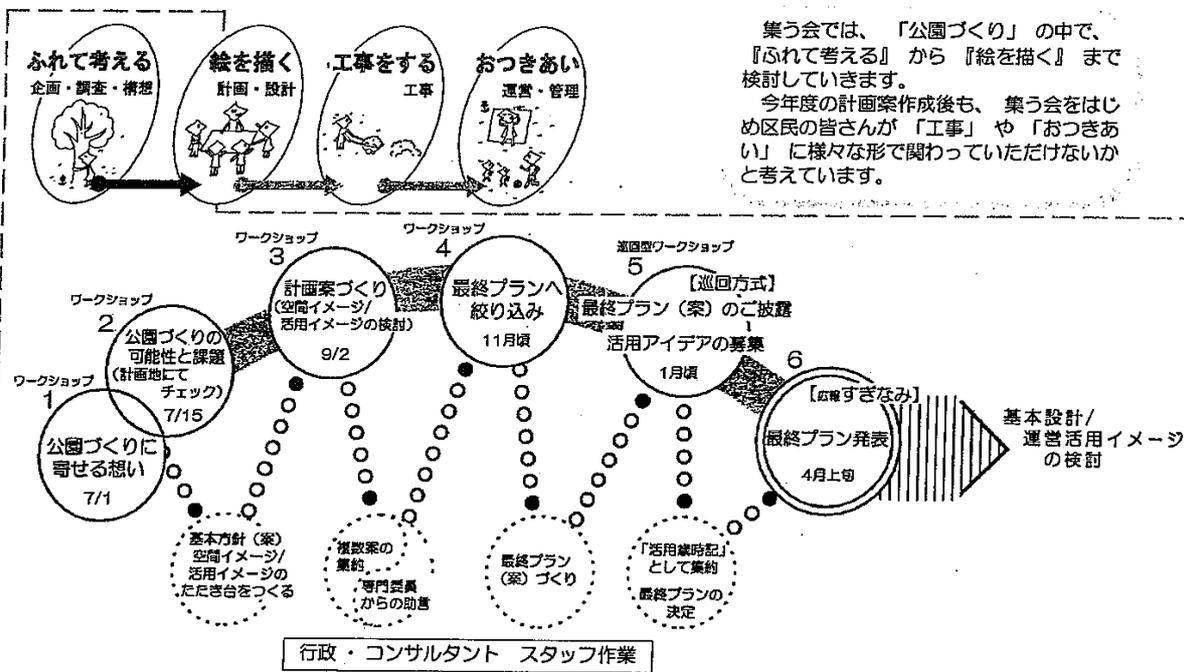
仮称 杉並南中央公園 計画づくりを考える区民の集い

# 集う会活動報告 創刊号

集う会についてのお問い合わせ先： 公園緑地課 吉野 TEL 3312-2111 内3444

杉並区では、仮称 杉並南中央公園の整備計画を進めるに当たり、「地域の方々や利用する方々の積極的な関わりが不可欠である」と考えました。そこで、計画内容を決めてから意見をお聞きする従来の説明会方式ではなく、区民の皆さんと一っしょに考え、お互いに意見を交換しながら計画づくりを進めるワークショップ方式を採用し、「公園の計画づくりを考える会」（集う会）を開催してまいりました。第1回、第2回が終了いたしましたので、今までの経緯をご報告いたします。

## <（仮称）杉並南中央公園づくりとワークショップ（集う会）の進め方>



### 第1回集う会（7/1）の概要

「どのような公園にしたいのか、みんなの想いを知り合いしましょう」

- 事業内容と計画地の説明・質疑応答
- 「〇〇することのできる公園づくり」の記入

### 第2回集う会（7/15）の概要

「公園予定地をみんなで一っしょに歩いて、公園づくりの魅力と可能性をさがしましょう」

- グループ別現地調査
- グループ発表

#### <番外編>

- 公園予定地外周ツアー
- スタッフ会議

「当日の意見のとりまとめ」

### 第3回集う会（9/2）のご案内

「区の前提条件と第2回までの意見を元に活用イメージを検討し、計画案を考えましょう」

- 第2回集う会の意見の説明
- 区の公園づくりの考え方の説明
- グループ別に計画案の検討

浜田山会館 PM2：00～

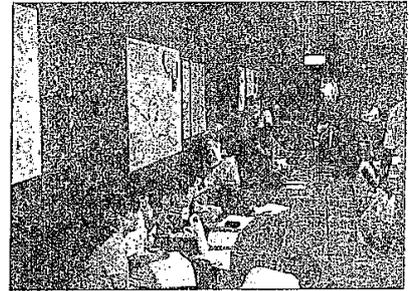
# 第1回集う会

場所：浜田山会館

第1回集う会では、事業内容の詳細や会の進め方について、様々な意見や質問をいただきました。また、参加者全員の皆さんに公園づくりに寄せる想いとして、カード「わたしは“〇〇をすることのできる公園”づくりをしていきたい」への記入をお願いいたしました。カードを大づかみに整理すると、下のように分けることができました。



集う会の進め方の説明風景



カードへの記入

## 自然豊かな公園づくり

<皆さんの声>

樹木の保全 武蔵野の面影を残す原っぱ公園 雑木林、池、小川などのある公園 土の道 小鳥のさえずり 昆虫採集 ビオトープづくり 人工的なものを少なく..

## 子どもが自由に遊べる公園づくり

<皆さんの声>

杉並にプレーパークを 子どもがのびのび 木のぼり 穴掘り 幼児が遊べる 野外活動 (火が使える)・キャンプで生きる力を身につける 環境学習..

## スポーツができて健康になれる公園づくり

<皆さんの声>

テニス サッカー ジョギング スケートボード広場 スポーツ広場 ニュースポーツ 気功 芝のグラウンドの維持 手を加えずそのまま開放すればいい 最小限手を加えればよい..

## 誰もが利用できる公園づくり

<皆さんの声>

大人も子どもも年寄りも障害者もみんなが楽しめる公園 お年寄りがゆっくりひと休みできる公園 障害者グループが遊べる公園 車イスで散歩できる公園..

## 安全で安心できる公園づくり

<皆さんの声>

夜間利用への疑問 (夜間閉鎖すべき、開放なら交番や夜間パトロールが必要) 管理事務所の設置 (管理人の常駐) 静かさの維持 近隣へ迷惑をかけない 防災機能..

## その他

<皆さんの声>

犬を遊ばせられる 動物とふれ合える 雨天でも楽しめる たこ上げできる 野外コンサート 盆踊りなどのイベント 環境デザインに優れた公園 プールは管理が大変 公園を使って他の自治体との交流..

## 休憩・休息のできる公園づくり

<皆さんの声>

芝生でゴロゴロ 青空の下で座って 休憩 ぼんやり・のんびりできる..

## 市民が運営・管理する公園づくり

<皆さんの声>

草花の維持管理への参加 献木を募る 区民の参加による公園運営..

## <皆さんに書いていただいたカードの一部>

Handwritten cards with various ideas for park creation, such as "自然豊かな公園", "子どもが自由に遊べる公園", "安全で安心できる公園", "誰もが利用できる公園", "休憩・休息のできる公園", and "市民が運営・管理する公園".

## 第2回集う会

場所：am.計画地 pm.塚山公園管理棟

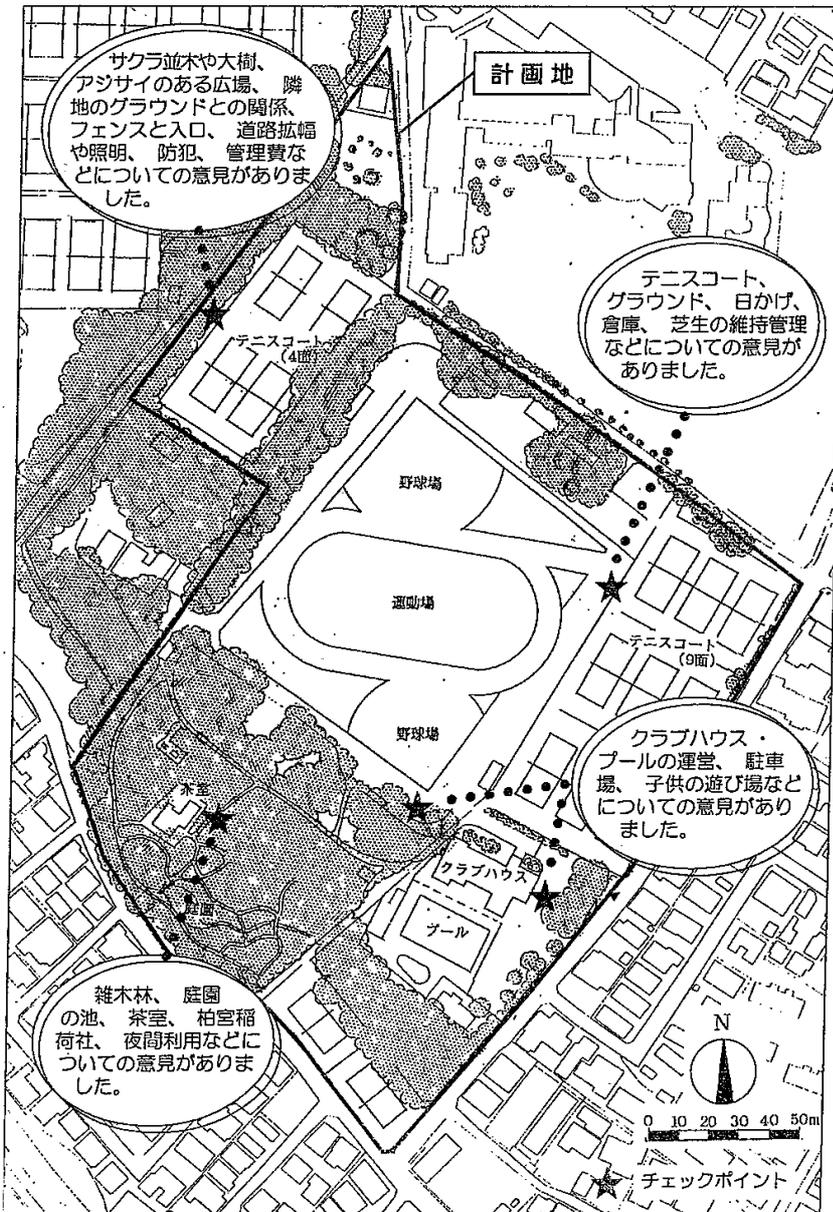
第2回集う会は、第1回集う会の「〇〇することのできる公園」の主要キーワードをテーマとするグループに分かれ、現地調査を行いました。計画地の5箇所のチェックポイントに各自意見や感じたことなどをカードに書いて、貼っていただきました。また、調査後、グループごとに意見交換し、結果を発表しました。カードについては、スタッフ会議で場所ごとに整理しました。



調査風景



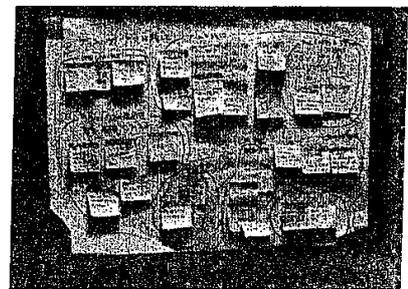
スタッフの説明を熱心に聞く参加者の皆さん



調査後のグループでの話し合い  
～話し合いは、芝生の上、樹林の中など思い思いの場所で行われました～



スタッフ会議の様子  
～とりまとめ作業は参加者の方にも公開され、様々なご意見を頂きました～



スタッフがとりまとめた意見の一部

グループごとの意見・コメント

現地調査の結果、皆さんより様々な意見や感想が出されました。グループごとの意見の一部をご紹介します。



**① 遊歩道はほしい**  
 遊歩道 → 下の肥土、森に近づく  
 ② 遊歩道の長さ、終点への入り口の設置  
 ③ 金がかからない → 有料にしては? 自然は壊れない  
 ④ 管理維持も必要  
 ⑤ 自然は動くもの公園 自然は動くもの公園  
 ⑥ 公園の下で遊ぶ → プラントの設置  
 ⑦ 自然豊かな公園づくり-1

自然豊かな公園づくり-1

**自然**  
 ① 自然豊かな公園づくり-2  
 ② 自然豊かな公園づくり-2  
 ③ 自然豊かな公園づくり-2  
 ④ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑤ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑥ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑦ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑧ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑨ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑩ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑪ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑫ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑬ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑭ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑮ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑯ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑰ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑱ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑲ 自然豊かな公園づくり-2  
 ⑳ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉑ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉒ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉓ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉔ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉕ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉖ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉗ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉘ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉙ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉚ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉛ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉜ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉝ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉞ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㉟ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊱ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊲ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊳ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊴ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊵ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊶ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊷ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊸ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊹ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊺ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊻ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊼ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊽ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊾ 自然豊かな公園づくり-2  
 ㊿ 自然豊かな公園づくり-2

自然豊かな公園づくり-2

テニスコートは有料にする。料金は管理費にする。  
 プラントは土の部分を含め、全て芝生にする。  
 特定の人が使うのではなく、多勢の人が利用できるバランスのとれた公園。  
 子供連れの家族が自由に使える公園にしてほしい。  
 芝生でサッカーができる広場がほしい。  
 スポーツ

樹林は残してそのまま使うようにしてほしい。  
 近隣のテニスコートは砂ぼこりのたまりやすいハードなものでほしい。  
 テニスコートの管理は時間制限をしたほうがよい。  
 テニスコートの周りに樹林を植える。  
 遠くから来る方のことを考え、馬場車の駐車場の整理。(周辺の調整) 利用可能な時間で無料開放する。テニスコートを一部としてほしい。  
 スポーツ



スポーツができて健康になれる公園づくり

- ① 使いながら考える 5~10年くらい
- ② 区民が知恵をしぼる
- ③ みんなで利用・管理 人を育てる

市民が運営・管理する・誰もが利用できる・休憩できる公園づくり

子供が自由に遊べる公園づくり  
 ① 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ② 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ③ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ④ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑤ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑥ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑦ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑧ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑨ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑩ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑪ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑫ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑬ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑭ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑮ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑯ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑰ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑱ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑲ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ⑳ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉑ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉒ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉓ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉔ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉕ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉖ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉗ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉘ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉙ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉚ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉛ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉜ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉝ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉞ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㉟ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊱ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊲ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊳ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊴ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊵ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊶ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊷ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊸ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊹ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊺ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊻ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊼ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊽ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊾ 子供が自由に遊べる公園づくり  
 ㊿ 子供が自由に遊べる公園づくり

子供が自由に遊べる公園づくり



① 風間には市民がパトロール 夜間(行政) 東と西の道に私道、老人車、早足への配慮、人への歩道、自然をなくし、車イスも安全に通れるように、坂道はなるべく車イスで通れる。  
 ② 安全のよい公園、お茶室のあり方、お茶室の公園には管理者が居る、お茶室のあり方、行政面のお茶室のあり方。

お茶室を維持して俳句の会等開く。  
 照明等が災害面を考慮して、できるだけ樹木を残して欲しい。  
 芝生の維持管理は又、芝生が飛散するため、芝生のままで欲しい。



① 芝生が芝生を残すかには賛成だが、維持管理は誰がやるのか?  
 ② 坂の下でテニスコートはいい、茶室、池は残して、何の目的で利用。  
 ③ プラントは芝生がなく、防災公園としての機能を果たさない、防災公園として、芝生、池、池等の設備を有する公園として再生。

① 芝生に広げて安全面を心配、樹木をどう残していくか? 樹木をどう残していくか? 樹木をどう残していくか?  
 ② 現状維持を希望、入口の敷地を一部開放地域を設ける、管理人員を置く。  
 ③ 事務所(公園管理)の運営時間は? 近所に夜番を配置したい、可能か?

安心して安全な公園づくり

**編集後記**  
 まだまだ暑さの厳しい日々が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。第3回目は、いよいよ計画案づくりに入ります。是非ご参加ください!

平成 12 年 8 月 14 日 発行 杉並区公園緑地課 制作 樹愛植物設計事務所